

介護 みんなで支える介護保険 No153

問 保健福祉課 介護福祉係  
☎476-1111(141)

◆認知症について正しい知識を持ちましょう part 6

《認知症の症状 ～中核症状②～》

4月号から介護保険制度改正の主な改正点についての掲載に伴い、中断しておりました認知症の症状である『中核症状』について引き続き紹介します。

その3 『理解・判断力の障害』

認知症になると、ものを考えることにも障害が起こります。具体的には、以下の変化が起こります。

考えるスピードが遅くなる

逆の見方をするなら、時間をかければ自分なりの結論に至ることができます。  
⇒急がせないことが大切です。

2つ以上のことが重なるとうまく処理できなくなる

一度に処理できる情報の量が減ります。  
念を押そうと思って長々と説明すると、ますます混乱します。  
⇒必要な話はシンプルに表現することが重要です。



些細な変化、いつもと違う出来事で混乱をしやすくなる

配偶者の入院などで混乱してしまったことをきっかけに、認知症が発覚する場合があります。  
⇒予想外のことが起こったとき、補い守ってくれる人がいれば日常生活は継続できます。

観念的な事柄と、現実的、具体的なことがらが結びつかなくなる

『節約は大切』と言いながらセールスマンの口車によって高価な羽根布団を何組も買ってしまふということが起こります。  
また、目に見えないメカニズムが理解できなくなるので、自動販売機や銀行のATMなどの前でまごまごしてしまったり、全自動洗濯機など身近なものまでうまく使えなくなります。

◆大崎町の介護保険事業の報告

介護保険事業実績についての報告（利用者の1割負担を除いた大崎町の支払い分）

第1号被保険者（65歳以上の人）		4,923人	平成27年6月末日 現在
要介護（支援）認定者		1,000人	
給付実績	在宅介護サービス費	40,756,842円	平成27年5月の 給付実績
	施設介護サービス費	54,280,359円	
	その他（介護予防サービス費も含む）	31,722,802円	
	介護サービス費 合計	126,760,003円	